

養殖業者にお墨付き

制度PRでイベント

県漁連など 長崎できょうまで

生産履歴などの情報提供が明確な養殖業者に公的なお墨付きを与える「県適正養殖業者認定制度」の知名度アップを図ろうと、県漁連と県かん水魚類養殖協議会は25日、エレナ稲佐店(長崎市丸尾町)と深堀店(同市深堀町1丁目)で認定を取得した養殖ブリの試食・販売イベントを開いた。26日も両店で試食などを実施する。

同制度は安全な養殖魚の

生産拡大を目的に2004年度に開始。県や大学、流通団体などの関係者で構成



お買い得品の養殖ブリを手にする
買い物客—長崎市、エレナ稲佐店

する認定機関が種苗、飼料、投薬、養殖資材の各項目を審査する。現在は▽ブリ28▽マダイ29▽ヒラス17▽トラフク39▽マグロ31の事業者を認定している。

25日にオープンしたエレナ稲佐店の売り場では、昨

年11月にあった認定業者の品評会で「チャンピオンフイッシュ」に輝いた宝生水産(新上五島町)をPR。ブリの刺身などをこの日限りの特価で販売し、多くの客が買い求めている。

エレナでは認定事業者との取引を拡大しており、今回のイベントに協力した。中村義昭常務取締役は「認定事業者の魚をメインに取り扱い、制度の知名度も高めたい。衛生管理に熱心な生産者と食の安全安心に敏感な消費者をつなぐ役目を果たしたい」と話した。

(山里悠太郎)